

競技に関する注意事項

1. 本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集時刻までに受付を済ませておく（受付がない場合、競技者は競技に出場できない）。
3. 招集について
 - ・ 競技に使用するスパイク及びシューズが陸上競技規則において認められていない物であった場合、失格及び記録除外の措置をとることもある。競技開始前に疑わしい場合は申し出ること。終了直後であっても、審判長の判断で確認し失格になることもある。招集の際に必ず確認を受けること。
 - ・ 招集場所はスタンド器具庫前（100mスタート地点後方）に設置する。
 - ・ 競技時間表記載の招集時間に合わせて招集を受ける（招集場所での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）。
 - ・ 招集完了後は、集合時間に合わせてスタート地点に集合し、最終コールを受ける（スタート地点での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）。
4. 競技について
 - ・ トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
 - ・ 競技者の変更はいっさい認めない。
 - ・ アスリートビブスについて
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実に付ける。跳躍競技については胸または背に付けるだけでよい。
 - (2) トラック競技は招集時にレーンナンバー又はオーダーナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に明確に数字が読めるようにする。
 - ・ 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳の「ポール」とやり投の「やり」及びハンマー投の「ハンマー」については、検査を受けて使用することができる。
 - ・ 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。
 - ・ 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
 - ・ 腰ナンバー標識を使用する種目に出場した競技者は、フィニッシュ後直ちに、腰ナンバー標識を係員に返却する。
 - ・ 投てき競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム）が必要な競技者は各自で持参する。
- 5 各団体控え場所について
 - ・ 各団体の控え場所は、各指定された正面スタンド及び芝生スタンドのみ使用可とする。それ以外のスペースは使用禁止とする。また、競技場外の場所（ウイングアリーナ及び公園芝生）についても使用禁止とする。

- ・控え場所ではマスクを着用し、密が避けられるように各団体に配慮する。
- ・他団体の控え場所へは立ち入らず、不要な接触を減らすように配慮する。

6. その他

- (1) 高校総体支部予選会と同時開催のため、競技運営については総体予選を優先する。
- (2) 役員及び開場前の準備を依頼された学校の生徒以外は、開門前に競技場内に入場しない。競技中は、正面本部前の通行は禁止。また、競技終了後は、すみやかに競技場を出る。
- (3) 各団体の待機場所は、メインスタンド及び芝生スタンドとする。他の施設へは近づかないこと。(体育館や公園、屋外トイレ等エリアの場所取りは禁止)
- (4) ウォーミングアップ場は特に設定していないが、安全に留意し、競技及び競技運営に支障のない場所で行う(競技役員の指示に従う)。
- (5) 朝のウォーミングアップ、大会準備に支障がない範囲で競技開始30分前まで使用できる。レーンの使用区分は次の通りとする。
 1. 2レーン：中長距離、3～6レーンは短距離、7. 8レーンはハードルとし、ゆっくりしたジョギングはトラック外を使用する。
 ※使用した施設器具は元の位置に返却すること。
- (6) 記録の発表は、電光掲示板への表示及びアナウンス(上位競技者のみ)で行う。また、記録の掲示はしないが、専用のwebページで確認できるようにする。
- (7) 競技会における怪我等については、応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (8) 貴重品・衣服等の管理は、各団体に責任を持って行う。
- (9) ゴミの処理は、各団体に責任を持って確実に行う。

感染防止のための全般的な注意事項

- ① 大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- ・体調がよくない(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

※チェックシートの4日以内のチェック欄に何らかのチェックがある場合入場することができません。ご注意ください。ただし、ワクチン接種によるものは考慮する。

- ② アップ中または競技中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。
- ③ 3密(密閉・密集・密接)回避行動を心掛ける。

- ④ ウォーミングアップは極力個別に行う。
- ⑤ 競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。
- ⑥ 更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。
- ⑦ 運動中につばや痰を吐くことは原則行わない。
- ⑧ ゴミは各自で必ず持ち帰る。
- ⑨ フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）は各自で持参する。
- ⑩ 競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ⑪ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。（拍手や手拍子などをお願いします。）
- ⑫ 競技者は指定入場時間に来場し、自分の競技が終わったらできうる限り速やかに帰宅する（競技場滞在時間をできるだけ短くする）。
- ⑬ 競技者及び役員以外の応援者・観客の競技場内（スタンドを含む）への立ち入りを禁止する。
- ⑭ 参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする（体調管理チェック表【大会後／個人管理用】を活用する）。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する）。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑮ 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- ⑯ 「体調管理チェックシート」は1日目用、2日目用および3日目用があるため、該当の日にちのものを使用する。